

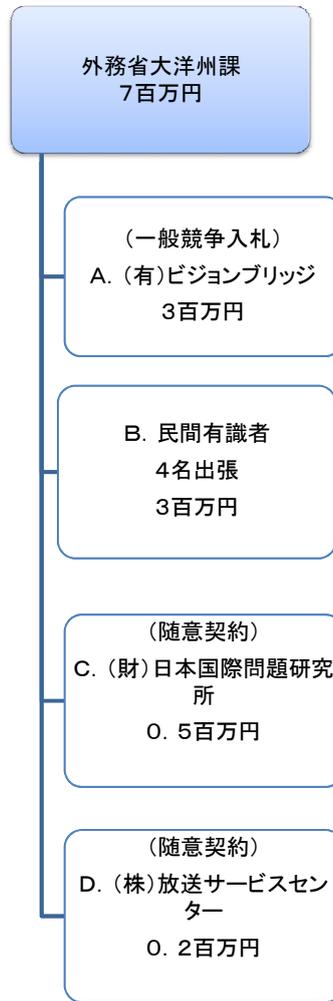
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	太平洋観光促進フォーラム事業費	担当部局庁	アジア大洋州局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成22年度開始・終了	担当課室	大洋州課	課長 飯田 慎一			
会計区分	一般会計	施策名	I-1 アジア大洋州地域外交				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第1項 外務省組織令第42条	関係する計画、通知等	第5回太平洋・島サミットにおいて本件フォーラムの立ち上げを表明した。				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	第5回太平洋・島サミットにおいて、太平洋島嶼国の持続可能な経済発展にとって観光産業が極めて重要であるにもかかわらず、昨今の世界経済事情や原油価格高騰などの要因により太平洋島嶼国の観光産業が低迷しているとの認識が共有された。かかる認識を踏まえ、我が国としては「太平洋観光促進フォーラム」を立ち上げ、太平洋島嶼国の経済発展を後押しするべく本事業の実施を行う。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	官民の専門家・有識者等から構成される本件フォーラムを議題毎に応じ複数回開催し、最終会合ではこれまでの提言をとりまとめ、総理への提出を行う。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	—	—	15	—	—
		補正予算	—	—	—	—	—
		繰越し等	—	—	—	—	—
		計	—	—	15	—	—
	執行額	—	—	7	—	—	
執行率(%)	—	—	46%	—	—		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	観光を通じた日本と太平洋島嶼国との人的交流強化の方策及び日本の太平洋島嶼国に対する具体的支援策をまとめた提言(提言書の数)	成果実績	冊	—	—	1	—
達成度		%	—	—	100	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	会議実施回数	活動実績 (当初見込み)	回	—	—	3 () ()	— () ()
単位当たりコスト	2(百万円/1回)	算出根拠	7百万円/3回				
平成23 (単位:千円) 年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	計	0					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	—	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>東日本大震災の影響により、実施回数は減となったが、本年3月には本件フォーラム委員一同より我が国政府に対して、我が国と太平洋島嶼国との観光を通じた人的交流の強化、また、太平洋島嶼国が抱える諸課題に対する我が国としての協力・支援策に関する具体的な方策が提言され、有意義なものとなった。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		—	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
		—	
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)



費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
人件費	会議コーディネーター、通訳	2			
会議招へい	航空賃、宿泊費、食事代、自動車借上	1			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	航空運賃、日当・宿泊料	3			
計		3	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(有)ビジョンブリッジ	会議開催委託	3	6	85%
2					
3					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	民間有識者4名	旅費	3		
2					
3					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本国際問題研究所	会議資料・報告書の作成	0.5		
2					
3					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)放送サービスセンター	音響システム借料	0.2		
2					
3					